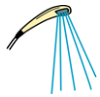
鼻手術 クリニカルパス

		入院日	手術日	1日目	2日目（退院日）
		/	/	/	/
観察		状況に応じて、体温・血圧を測定します	手術後は痛み、出血、鼻水、のどへ流れる血液、吐き気・嘔吐　等の有無をみます 手術後の苦痛などあれば我慢せずお知らせ下さい		
安静度		自由にお過ごしください	回復の具合にあわせて動けます 手術後の初回のトイレは看護師が付き添います	自由に動けますが出血の危険があるため、なるべく安静にしましょう。	
食事		普通食または、治療食がでます ＜手術が15時前の場合＞ 21時以降食事はやめてください	＜手術が午前の場合＞ 朝7時以降　水分はやめてください ＜手術が12時（12時含む）～15時の場合＞ 朝8時から水分の摂取はやめてください ＜手術が15時以降（15時含む）の場合＞ 朝8時以降食事はやめてください。12時から水分はやめてください ＊帰室3時間後に水分が取れます ＊帰室4時間後に軽食の取れる方もいます （召し上がる方はご自分で御用意ください） 回復の具合によりますので看護師に確認してください	1日目朝から 普通食が食べられます（治療食を食べられている方は治療食をお出しします） 	
清潔		入浴ができます	入浴はできません 手術前に、化粧・マニキュア などはお取りください	 シャワー、シャンプーができます	
診察・検査		入院後に病棟医による診察があります	診察はありません	診察があります(9時30分頃放送が入ります)	診察があります
処置			手術室で鼻の中にガーゼが入ってきます		鼻洗浄を開始します。看護師が説明します。
薬物療法	点滴		手術室より点滴が入ってきます 帰室後、抗生剤の点滴があります	前日からの点滴と抗生剤（朝・夕）があります	朝、抗生剤点滴後針を抜きます
	内服薬	常用薬を看護師が確認します (手術日に常用薬を内服するかは医師に確認してからお知らせします)		鎮痛剤が2日間です。1日3回毎食後内服しましょう（朝、看護師が渡します）（退院後も鎮痛薬をお渡しします）	退院後抗生剤と鼻の通りをよくする薬を内服しましょう
	吸入点鼻	原因に真菌症が疑われたり、診断がついた方は 点鼻薬が変更又は中止になることがあります			退院後、鼻の炎症を抑えるスプレーをします
	臨時指示薬	眠れないとき、便秘時などに薬を使うことができます	痛み・吐き気・発熱時は薬を使用します		
説明		・入院生活上の留意点の説明があります ・看護師から退院までの経過、手術についての話があります ・購入物品のご案内をします	手術は　：　　頃の予定です 出棟前にトイレ・手洗い・着替えを済ませてください 手術室まで歩いていきます、帰りはベッドで帰ってきます ネームバンドの確認をさせていただきます 手術後の鼻のガーゼ交換について説明します	薬について薬剤師から説明があります （手術後1日目または2日目）	退院後の生活について 用紙を用いて看護師が説明します 次回の外来について説明し予約券をお渡しします 診察時に医師より退院についての説明があります
目標		1. 入院中の予定が分かり、 わからない事は聞くことができる	2. 痛み、吐き気、出血、複視などの眼の症状が出現など、身体に変化があった時言うことができる(痛みの程度は数字の0から10「0:痛みなし、10:考えられる中で最悪の痛み」で伝え 3. 鼻のガーゼ挿入中の注意点が分かる 1) 鼻に当たっているガーゼを自己で交換できる 2) 鼻の中のガーゼをさわらない 3) 異常な出血、吐き気があった時は医療者に言える 4)出血を飲み込まない		4. 鼻洗浄の仕方がわかる 5. 退院後の生活で注意することがわかり、 出血しないように注意する

＊症状経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

2002年9月作成（2019年3月22日改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院　B4病棟